

第4回坂出市高齢者福祉計画等策定協議会

日時：令和5年11月16日（木）

午後3時30分から午後4時10分まで

場所：坂出市役所2階 大会議室

1 開会

事務局：

ただいまより第4回坂出市高齢者福祉計画等策定協議会を開催させていただきます。

本日は委員の皆様方におかれましては、公私ともに大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

お手元に配布しております資料の確認をお願いいたします。

(配布資料説明)

これからの議事進行については、会長にお願いしたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

2 議事

(1) 事業者ヒアリングの結果について

会長：

皆様お忙しい中、ありがとうございます。それでは会議が円滑に進行されますよう、委員の皆様のご協力のほどをよろしくお願いいたします。

今日は議題が3つあり、多分3つ目が一番重要かと思っております。「(1) 事業者ヒアリングの結果について」事務局よりご説明いただければと思います。

事務局：

【資料2-1、資料2-2、資料2-3説明】

会長：

何かご質問等ありますでしょうか。現在、介護医療院は坂出市にないということでしょうか。

事務局：

坂出市には現在ないです。

会長：

介護療養型医療施設はあったのですか。

事務局：

介護療養型医療施設も現在は無い状態です。

会長：

転換はないということで、回生病院は計画していたけど、しないということですか。

事務局：

そうです。回生病院としては新設という形にして病院内でしたいという意向でしたが、加算の状況からみて現状難しい、断念したいということでした。

委員：

短期入所生活介護の年度別の利用者数が平成 30 年から令和元年にかけて減ったということですが、平成 30 年より前はどうかだったのでしょうか。平成 30 年の数字に近い感じなのでしょうか。

事務局：

平成 30 年まではずっと増えていた状況です。このまま行くのかなと思っているところに、コロナで一気に下がってしまったという状況です。

会長：

他の委員の皆様方でご質問等ありますでしょうか。施設の分類というのは何回聞いても分かりにくいですが、介護医療院というのは、極めて病院みたいな感じで、介護と医療と一緒にということですね。

(2) 高齢者の人口推計について

続きまして「(2) 高齢者の人口推計について」事務局よりご説明いただければと思います。

事務局：

(資料 1 「坂出市高齢者福祉計画および第 9 期介護保険事業計画」 骨子 (案) に基づき説明)

会長：

事務局より高齢者人口推計について説明がありましたが、何かご質問がありますでしょうか。簡単にまとめますと、とにかく人口が減っているということですね。65 歳以上の人口は、今だいたい国レベルで 28% ぐらいですが、坂出はそれよりも高い。それで今後どんどん増えていって、2050 年には 40% ぐらいまで増えていくという予想になっています。一方 65 歳以上の人口の中で、後期高齢者という言葉が正しいかどうかは個人的には疑問なのですが、それが 6 割程度になっているということになります。それと連動して、15 歳までの子どもの数が確実に減ってきているということです。これは坂出市に限らず、香川県、日本全国こういうことかなと思います。この会は介護の会議ですけれど、子育て支援であるとか、働く世代の成人病対策とか、いわゆる生活習慣病対策、それらを全部一緒にやらないといけないと思います。

他にご意見、ご感想ある方、いらっしゃいますでしょうか。人口推計はいろいろな方法があると思います。楽観的な予測もあれば、悲観的な予測もあります。これは今まで坂出市が取っている推計方法、前回決めたものと同じ方法を使っています。急に変わってもどうかと思うのと、前回使ったものは、そんなに人口の現実値と変わっていないのでということになります。もちろん今後の政策によって、いい方向に外れるのはいいことだと思うので、それは期待したいところだとは思いますが。この人口推計とか、高齢者の人口の割合とか、被保険者の認知症の割合等々を含めて、介護保険料を決めていくということになるかと思っています。それでは、この議題は終わりますので、次に移りたいと思います。

(3) 坂出市高齢者福祉計画および第9期介護保険事業計画骨子(案)について

続きまして「(3) 坂出市高齢者福祉計画および第9期介護保険事業計画骨子(案)について」事務局より説明いただければと思います。

事務局:

(資料1「坂出市高齢者福祉計画および第9期介護保険事業計画」骨子(案)に基づき説明)

会長:

何かご質問ありますでしょうか。結局、数値とか具体的なことをリニューアルしていく作業になるということですね。前回骨子を示していただいて、それに基づいて今作成途中だと思うのですが、委員の皆様方、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

いくつか目標値があると思うのですが、成人保健、働く世代の計画、県であったら循環器疾患の計画とか認知症の計画とかいくつかあって、整合性を取っていると思うのですが、坂出市は若い世代の計画との関係性とか、課内でのやりとりや整合性というのは、どういうふうになっているのでしょうか。

事務局:

若い世代、現役世代からの健康づくりというところで、けんこう課と連携を取りながら行っております。けんこう課でも健康づくりの計画がありまして、立てる時期は若干違うのですが、目標値等は一緒にしております。最近、保健、医療と介護の一体的な事業ということで、若い頃から継続的に支援して健康づくりから介護予防につなげていこうという取り組みをしております。

会長:

若い世代の計画もあり、そこはぶつ切りになって縦切りというのは良くないので、よく連携してやっけていただいているということかと思います。全国的には健康日本21というのがあって、全世代の健康づくり、子育て世代から高齢者までの全世代の計画を県でも作っている途中でして、それとの整合性とか、全国版との整合性とか、それらとの兼ね合いもありながら作っているという状況ということです。

委員:

私達は婦人会の方で、日赤のモデル事業をしております。今年度は、説明があったようなオレンジチームが発足するようで、私達もそこに入って行って、より地域で認知症の理解を深めて、地域で活動していけるようになったらいいなと思っています。

会長:

ありがとうございます。ネーミングがいいですね。認知症サポーターというとなんか感じ悪いと個人的に思うので、そういう名前にしていただけたら、すごくいいことだなと思います。

委員：

57 ページの認知症サポーターフォローアップ研修受講者ですけれども、現状が年間0人となっています。今年何人が受けているはずですが、どうなっていますか。

事務局：

ずっと計画には立てていたのですが、コロナで全然できていませんでした。フォローアップ研修は久しぶりに今年度から開催できました。0人ですけれど、今まだ途中で、3月まで計画しているので、数が分からないのですけれど、今年度は多くの方にご参加、ご受講いただけています。

会長：

他に気づいたところなどありますか。今渡されて全部読めないと思いますので、持ち帰っていただいて読んでいただいて、ご質問やご意見があれば、事務局へ連絡していただくという形でもいいでしょうか。

事務局：

次回でも今回でも結構です。

会長：

坂出市役所のかいご課へ電話すればいいということですね。

事務局：

はい。

会長：

もし何かあったら電話していただければと思います。他に何かありますでしょうか。

今日は途中ということで、なかなか断定的なことを言えないので、次回までに期待したいと思います。ないようですので、その他について事務局より何かありますでしょうか。

事務局：

いろいろと貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございます。事務局からのお知らせでございます。

次回、第5回策定協議会は12月21日（木）の午後3時半からを予定しております。開催につきましては、文書にてご案内させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

4 閉会

会長：

ありがとうございます。他にないようでしたら、本日の会議は以上で終わらせていただきたいと思います。皆様どうもお疲れ様でした。また次回よろしく願いいたします。